

さわ研究所 2024年度 教材購入特典講座
「これで完璧！看護国試過去問完全攻略集 第114回(2025年実施)対策〈黒本〉」

＝過去問トレーニング＝

【確認問題1】慢性閉塞性肺疾患について正しいのはどれか。【第106回】

1. 残気量は減少する。
2. %肺活量の低下が著明である。
3. 肺コンプライアンスは上昇する。
4. 可逆性の気流閉塞が特徴である。

【確認問題2】肺気腫の患者が、歩行時の息切れが強くなってきたため受診した。呼吸数は34/分で、口唇のチアノーゼがみられた。この患者について正しいのはどれか。【第101回】

1. 1回換気量が増加している。
2. 病状が進行するとPaCO₂が上昇する。
3. 呼気よりも吸気を促すと効果的である。
4. 経皮的動脈血酸素飽和度〈SpO₂〉は上昇している。

MEMO:

次の文を読み [問題1] [問題2] [問題3] の問いに答えよ。【第113回午前94~96】

Aさん(57歳、男性)は、妻(50歳)と2人で暮らしている。21歳から喫煙習慣があり、5年前に風邪で受診した際に肺気腫と診断された。最近は坂道や階段を昇ると息切れを自覚するようになってきた。

[問題1] Aさんの呼吸機能に関する数値で増加を示すのはどれか。

1. 1秒率
2. 残気量
3. 1回換気量
4. 動脈血酸素分圧 (PaO₂) (room air)

[問題2] Aさんは発熱、咳嗽、粘稠痰、呼吸困難を認めたため受診し、肺炎を伴う慢性閉塞性肺疾患 (COPD) の急性増悪と診断されて入院した。入院後、薬物療法によって病状は改善し退院が決定した。看護師がAさんに退院後の生活について尋ねると、今回の入院をきっかけにAさんは退職し、家事に専念すると答えた。

Aさんの呼吸機能に対する負荷が最も小さい動作はどれか。

1. 食べる直前に調理する。
2. 部屋全体に掃除機をかける。
3. 頭より高い位置に洗濯物を干す。
4. 買い物した荷物をカートで運ぶ。

[問題3] 5年後、Aさんは急性増悪による入退院を繰り返していた。今回の入院では呼吸機能の低下がみられたため、退院後に在宅酸素療法 (HOT) を導入することになった。Aさんは「家での生活で気をつけることは何ですか」と看護師に質問した。

Aさんへの指導内容で適切なものはどれか。

1. 「寒いときは電気毛布を使ってください」
2. 「入浴時は酸素チューブを外してください」
3. 「ガス調理器を電磁調理器に変更してください」
4. 「呼吸が苦しいときは楽になるまで酸素流量を上げてください」



アンケートへのご協力をお願いいたします。さわ研究所ホームページトップ画面にある「アンケート」ボタン、もしくはこちらのQRコードよりご回答ください。

一緒に頑張りましょう！
お手元に教材が届いたらどんどん勉強を進めていってね。
応援しています！！

